

## 1997年の始まりにー「21世紀の教育をともに作りましょう」 事務局長 角田 尚子

20世紀が「こどもの世紀」と言われたように、21世紀は「教育の世紀」と呼ばれることでしょう。人間がもっとも人間らしいのはその学習能力にあります。20世紀の初頭に「こどもの時代」の大切さが認識され、広範な学校教育の基礎が築かれてから1世紀、教育は人間と社会の発達をうながす基礎として、もっと広く、深く、そして日常的なものとして、生涯を通じたどの時期にも不可欠なものとして認識されるようになりました。ERICはそのような新しい時代を担う非営利の民間団体としてさらに活動を広げていきたいと考えています。

私たちは「すべての人に教育を」という目標がまだまだ達成されていない地域があることを忘れてはなりません。同時に、その教育の質を問うことも忘れてはならないでしょう。地球を、宇宙を包含する想像力と、身近な問題に共感できる感性こそがこれからの教育に求められる核なのです。今、私たちを取り巻く環境・開発・人権の状況は決して楽観を許すものではありません。しかし、磨かれた想像力と感性に根差した自己への信頼、互いの信頼、社会への信頼を基礎に、次のステップへと互いを高めあう行動と協力に希望を託したいと思えます。ERICの活動を引き続きご支援いただくとともに、ご一緒に取り組んでいただけますことを心から願っております。

## SEMINOR

### 春の参加のファシリテーター養成講座

FAX情報番号081#

夏の参加のファシリテーター養成講座に引き続き、社会の意志決定への参加がテーマです。今回はPLT（プロジェクト・ラーニング・ツリー）のセカンダリーモジュール（中等向けの教材）を用います。研修では、アクティビティや手法の共有を経て、①気づき、自分たちの知っていること、次々に新しくなっていく情報や知識を統合させ、②社会の中で自然と人間の関わり方について、自分たちの気づいたことを行動に移していくための、社会参加の方法や身の回りの情報の構造化、応用、伝え方などを具体化していくアクティビティ、③参加をファシリテートするアクティビティの実践方法、応用方法やプログラムの立て方の修得を目標としています。（担当 久保）

場所 八王子大学セミナーハウス ユニット館 中セミナー室  
日時 1997年3月22・23・24日（土・日・月 3日間）  
集合 現地11:00 受け付け 11:00～11:50 講座開始 13:00  
参加費 3万円（宿泊費込み・食費別）  
申し込み方法 研修費用郵便振替口座へお振り込み下さい。全日程参加できない方は、宿泊、参加日数を通信欄に記入して下さい。お問い合わせは事務局まで  
募集人数 20人程度  
ファシリテーター 久保早恵（ERIC）と森 良（ECOM）

#### 3日間の流れ

1日目 「自然と人間、社会の間の様々な関係」

- 午後 ・アイスブレイキング ・自己紹介
- ・アクティビティ体験
- ・「健康で豊かな「森（資源）」と人間のイメージマップ」
- 夜 ・PLT Secondary Module Introductory Handbookの紹介①

2日目 「人間と自然の関わり ～資源としての自然；再生可能な資源、再生不可能な資源、循環」

- 午前 ・アイスブレイキング
- ・アクティビティ体験 「世代間の資源分配/利用」「グローバルな関係の中の公正さ」
- 午後 ・アクティビティを自分たちでファシリテートする
- 夜 ・PLT Secondary Module Introductory Handbookの紹介②

3日目 「自分たちができること具体化；社会参加の方法 伝える方法」

- 午前 ・ブレイクアウト/マトリックスの作成（96年夏のセミナーの成果の活用）
- ・アクティビティ体験
- 午後 ・プログラムづくり
- ・「健康で豊かな「森（資源）」と人間のイメージマップ」
- ・PLT研修受講者のフォローアップ・ネットワークについて
- ・ワークショップ全体の評価

# ERIC

国際理解教育センター  
International Education  
Resource & Innovation Center  
114 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル1F  
Iwase Bldg. 1F, 1-14-1 Higashi-tabata,  
Kita-ku, TOKYO 114 JAPAN  
代表案内電話 & FAX: 03-3800-9414

## Global School for Beginners 参加者募集中!

ERICグローバル・セミナーなどの内容を、簡単な英語で行うGlobal School for Beginnersが好評開催中!毎回違うファシリテーターが、工夫をこらしたプログラムを行っています。英語は初心者というあなた!ご参加をお待ちしております。事前に予約してください。(担当 田中)

日時: 土曜日(10:00-12:00) 1997年1月 11日・18日・25日(単発参加も受け付けています)

場所: ERIC事務局(JR田端駅北口徒歩3分)

費用: 各回 1000円

## '97年度もERICはおもしろい!

### 海外研修ツアー

#### オーストラリア「持続可能な世界のための教育」教員養成プログラム体験ツアー

UNEPとUNESCOの環境教育推進共同プロジェクトの一環として開発された「持続可能な世界のための教育」プログラムを、編著者であるジョン・フィエンによるワークショップで体験しませんか。ブリスベン近郊のリゾートでの5日間のワークショップの後、シドニーに移動し、開発教育の優れた著書「死に向かう開発」の著者テッド・トレイナーが自ら実践するオルタナティブな教育センターPig Face Pointを訪ねます。その他、環境教育センター、博物館などを訪問予定。参加費は35万円程度。学生の方には助成金が出ます。お問い合わせください。(担当 角田)

#### イギリス研修ツアー ~イギリスの実践を学び、自分たちで教材を作る!

イギリスの古都Yorkで、グローバル教育の研修三昧。そしてNGOや現地教員との交流を通して、イギリスの教育事情や傾向、教材などを学ぶツアーを現在企画中です。Centre for Global Education主催のThird Summer School(8/1-8/8)への参加の他、さまざまな角度からイギリスの実践を学び、自分たちの現場で生かしていきませんか?また、ツアーでの学びをもとに自分たちのオリジナルな教材づくりに挑戦しましょう!ツアー日程は7月下旬-8月中旬(約2週間)、参加費は35万-40万円程度を予定しています。(担当 田中)

### ERIC主催前期研修ご案内

#### 国際理解教育基礎コース

参加型で楽しく学ぶ国際理解教育の基礎を習得するコースです。各回さまざまなテーマで、アクティビティを体験し参加型手法を学びます。

- |     |              |                   |
|-----|--------------|-------------------|
| 第1回 | 4月26日(土)     | 「ワールドスタディーズ」を中心に  |
| 第2回 | 5月24日(土)     | PLTを中心に環境教育       |
| 第3回 | 6月28・29日(土日) | グローバル・セミナー'97への参加 |
| 第4回 | 7月26日(土)     | 国際理解・国際協力をテーマ     |

\*日程やテーマは変更する場合があります。次回のERIC通信をご参照ください。

(担当 田中)

### グローバル・セミナー'97

「未来を創る ~もうひとつの平和を求めて」(仮題)

日程 1997年6月28・29日(2日間 第4土/日曜日)

ERICの看板セミナーであるグローバル・セミナー、97年度のテーマは「平和」。従来とは違ったアプローチの平和教育紹介を含め、国内外から多彩な講師陣を招いてワークショップを行います。ERICと一緒にこのグローバル・セミナーの内容をつくってくださる方、ぜひERICまでご連絡ください!(担当 高橋)

### '96 NAAEE・ウィスコンシンツアー報告

昨年11月1-5日に開催された北米環境教育連盟年次総会は何十ものイベントが同時進行し、ワークショップあり、シンポジウムありのにぎやかな、楽しいものでした。今何らかの環境教育の「基準」をNAAEEで提示しようという動きがあるほど力を持った存在で昨年の参加者は3000人を超えました。北米環境教育とはいうものの世界中の人びとを巻き込んだ大規模なものになってきています。「多文化環境教育」「都市環境教育」など環境教育のさまざまなアプローチが打ち出されています。もし発表したい事例や論文、ファシリテートしたいワークショップがあればその機会はだれにでもあります。参加の大きな目的のひとつが他のNGO団体とのネットワーキングです。魅力的な人びとに出会い、パワーをもらってきました。今ではインターネットが強い味方です。

ウィスコンシンではアメリカで環境教育の大きな原動力となっているウィスコンシン大学スティーブンポイント校のアビー・ラスキー氏に率いられ、地元の学校・教育委員会・大学付属の環境教育施設・こどもの博物館などの環境教育の現場を5日間視察しました。今年のNAAEEは「文化と環境」というテーマでカナダのバンクーバーで開かれます。今回入手した資料や報告書をご覧になりたい方は高橋まで。

# 海外研修および国際会議参加案内

## ERIC主催

### オーストラリア「持続可能な世界のための教育」研修ツアー

1997年8月16日(土曜日)-27日予定  
15名(大学他の教員、教員志望学生対象)

16日 出発

17日 ブリスベン観光

18日-22日(月曜から金曜) ブリスベン近郊でTSWの研修を受講  
進行はTSWの編者であるジョン・フィエン他合計3  
名のファシリテーターに依頼。

23-24日 観光およびシドニーに移動

25日-27日 開発教育者であるTed Trainerが主幸するシドニー  
PIGFACE POINT 環境教育センターを訪問

\*現在、TSW推進するネットワー  
クの呼びかけ人・賛同人を求めています。

\*ERICの進めている参加型学習を  
広げていくためには、これまでの  
ように関心を持ってくださる先  
生方ひとりひとりの磁力だけでな  
く、教員養成の在り方も考える必  
要があります。

\*変えましょう、一緒に。

ワークショップの内容は以下のようなモジュールから選択して構成します。どの分野に興味があるか、申込の時に明  
示してください。モジュールは教員養成に使うことを目的として作られています。

1. 持続可能な世界を概観する
2. 環境教育の手引き
3. 開発教育の手引き
4. 環境教育と開発教育のつながりを探る
5. 生態系的に持続可能な開発に向けた教育
6. 未来の選択肢を紹介する
7. 持続可能な未来を大切に
8. 文化と宗教: 持続可能な生活のために重要な課題
9. 環境倫理を探る
10. 新しい科学-新たな世界観
11. 健康、環境、地域開発
12. 村落共同体における環境および衛生教育
13. 持続可能な開発に向けた地域の行動
14. 地域に根差した環境教育
15. 初等教育における河川学習
16. 持続可能性のための消費
17. 女性、環境、開発
18. 人口-食料議論
19. 持続可能な農業と農村開発
20. 旅行者あるいは観光客: 発展途上国における観光業
21. 希望それとも絶望? 都市計画外の都市居住区における持続可能な生活
22. 廃棄物管理: 未来の問題解決の練習問題
23. 代替技術
24. 難民と開発
25. 環境教育、開発教育の教材分析
26. 個人の力と惑星の生き残り

学生参加者に対してスカラシップを助成金で出せる予定。お問い合わせください。

### FIT「森林教育教員研修」

日程は8月になる予定。カリフォルニア州の先生方を対象にした人気の高いこのコースに参加できるのは、PLT日本事務局のERICならではです。今回も5名までなら日本人参加者を受け入れてくれると言ってくれています。5日間のこの研修はハンズオン(実物教育)あり、講義あり、フィールド・トリップありの楽しいものです。FITの方でも通訳がウィスバリングしながら一緒にいることが全体の妨げにはならないことがわかってきて、文化的多様性を楽しんでいるとのこと。ご参加を予定される方、ご連絡ください。(担当 高橋)

その他、ウィスコンシン大学スティーブン・ポイント校も豊かなサマーコースを毎年主催しています。8週間のコースの中から、自分関心のあるところを選んで参加することも可能です。

### 国際会議参加案内

教員や教育指導者の間でも、国際的なネットワークや情報交流が盛んになってきています。97年に予定されている国際会議にぜひ参加しませんか。会議と言っても、盛りだくさんの経験交流・教材紹介が中心です。また、発表することも可能です。2名以上5名までの参加者が集まれば、以下の会議のためのツアーをERICで企画いたします。(通訳1人の場合)通訳が不要な方は自分で申し込んだ方が安上がりです。どの会議も早く申し込むと参加費などが安くなります。興味のある方はいますぐご連絡ください。(担当 角田 Tel.03-3800-9415)

### CONNECT! 国際会議 1997年6月9-13日予定

持続可能な社会をテーマに活躍している教員・研究者たちの国際的なネットワーク。NCSSの国際部などが中心に呼びかけています。オーストラリア、シドニーで開催。ジョン・フィエン氏もオーガナイズにかかわっています。

問い合わせ先: Vicki A. Green, Education Program Okanagan University College

3333 College Way Kelowna, B.C. V1V 1V7 Canada

Tel. (604)762-5445 Loc.7303 Fax (604)470-6001

Email: vagreen@okcins.okanagan.bc.ca

ERIC国際理解教育センター

〒114 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル

海外研修問い合わせ電話03-3800-9415

96.12.18

海外研修案内

### InterActivity 1997 「学習のためのランドスケープを変革する」1997年6月7-9日確定

子ども博物館などにかかわっている人には見逃せない会議です。世界有数の子ども博物館があるインディアナポリスで開催されるこの会議は子ども博物館協会(Association of Youth Museum)が主催するものです。設立されてから4年になるAssociation of Youth Museumが、子ども博物館の専門家・関係者のためのいいネットワークとして育てて行き、子どもたちが学校以外の場で、芸術について、社会について、人類共通の課題について学び、行動する地球市民になっていける場を世界中に増やすためにもぜひ一緒に参加しましょう。

問い合わせ先: Valerie W. Borden Association of Youth Museums  
1775 K Street, NW Suite 595 Washington D.C. 20006  
Tel. (202)466-4144 E-mail: AYMDC@AOL.COM

### NAAEE北米環境教育協会年次総会 1997年8月予定

カナダのバンクーバーで開催される予定です。バンクーバーで8月というのに決まったのは素敵な夏休みを楽しめるからだとか。2000人規模の会議で、ネットワークを作るのには最適なものです。8月の第一週です。参加案内は1月に出される予定です。

問い合わせ先: North American Association for Environment Education  
1255 23rd Street, NW Washington D.C. 20009-1202

### NCSS社会科教育全米協議会年次総会 1997年11月予定

5000人規模のこの会議でも、地球市民、持続可能性などは大きなテーマの一つになってきています。規模が大きいのにもかかわらずインターネットが自由に使える会議場環境など、配慮の行き届いた運営は定評があります。時間の長いワークショップは前日に開催され、20-30ドル程度の別途参加費が必要になります。その他のセッションは1-2時間です。全体で数百のセッションがあるので、選ぶのが大変なぐらいです。

問い合わせ先: National Council for the Social Studies  
3501 Newark Street, NW Washington D.C. 20016 U.S.A.

### Arthur Anderson's Learning for the 21st Century 1997年4月9日-11日

参加費\$1750のこの会議では教育の質を高めるためのさまざまなワークショップが提供されます。8日から10日までの宿泊費・食費を含みます。

問い合わせ先: Nancy Allbertson  
Center for Professional Education, St. Charles, Illinois U.S.A.  
Tel. (630)444-4987

以上のものは、個人でも申し込めるものです。ERICから通訳付でツアーを組むことも可能です。2人以上集まれば、一緒にできると思います。ぜひ、ご相談ください。

### PLTコーディネーター会議 1997年5月14日-18日

メイン州バンクーバーで開催されるこの会議はPLTコーディネーターだけが参加できるクローズドな会議ですが、毎年ERICから参加しているものです。コーディネーター会議とは言え、新しいアクティビティの紹介、フィールド・トリップなど、研鑽の場としてもよく組み立てられたプログラムになっています。楽しくなければコーディネーターなんて続けられないよね、というファミリーな雰囲気にとっても素晴らしい会議です。ERICを通してのみ参加可能です。

### Educating for Global Citizenship 1997年7月1日-8月2日

ツアーは組めませんが、American Universityの教員研修コースは5週間で約37万円。宿泊費・食費は含みませんが、単位をもらえるものです。長いけれど、この長さが個人の変革のためには必要なのだと言っておられました。

問い合わせ先: A Peace and Conflict Resolution Institute for Elementary and Secondary Teachers American University  
4400 Massachusetts Avenue, NW Washington D.C. 20016-8071 U.S.A.

これからの市民社会が発展するためには社会全体が教育的装置になる必要があります。自分への教育投資は未来につながる道なのです。ひとりひとりの教育投資が社会貢献です。いろいろな教育機会があふれる社会をERICは目指したいと思ひますし、そのために今後もERIC主催以外のものも紹介していけたらと思ひています。ぜひ、一緒に参加しましょう。会議への参加の場合、一人の通訳にたいして4-5名が限度です。参加費には通訳謝礼を含めさせていただきますが、40万円程度の参加費に抑えて、参加しやすい価格をと考えています。一緒にする私たちにとっても学びになるでしょうから。個人と社会が共に育つ関係、そんな視点を持った教育者をERICのネットワークでどんどん増やして行きましょう。教育者が21世紀を開く鍵なのです。 Welcome to ERIC Network, and we thank you for your work, for what you do!

## 資料室コーナー

### テーマ別ブックフェア

ちょっぴり英語が苦手なあなたに、ちょっぴりお得なお誘いです。ERICの資料室って、何があるのだろう。貴重な資料がありそうだけど、自分の関心にあうものがあるかしら・・・英語ばかりで難しいと思っている方に、2ヵ月毎にテーマを変えて勉強できるようにしました。資料を見て、読んで、関連のアクティビティも体験、ゲストスピーカーも予定をしています。できれば予約をいれてください。お待ちしております。費用500円 (担当 馬場)

	日程	テーマ	イベント(17:00-20:00)
1月	1月18日(土)	開発	開発教育と文化と お試しアクティビティ/ゲストスピーカー
2月	2月15日(土)	環境	環境問題いろいろ：わたしとあなたの環境問題 お試しアクティビティ
3月	3月15日(土)	環境	みんなの環境問題：わたしと世界のつながり お試しアクティビティ/ゲストスピーカー *内容が一部変更になることがあります。ご了承ください。

昨秋に始まったブックフェア。10・11月のテーマは「人権」でした。連続で参加して下さる方もいて好評でした。世界人権宣言のことをひとつひとつチェックしたり、アクティビティをしたり・・・「人権」について取っ掛かりができたという感想もいただき、担当者もほっと一息。

### ERIC資料室探検 ～どんな本があるのかしら?? ERICの資料は、たとえば、...

「紅茶の道」があることを知っていましたか。「バナナの来た道」というタイトルのアクティビティがあったような... 紅茶の本ではありません。今は聞き慣れた「フェアトレード(公平な貿易)」が、なぜ、行われることになったのか、貿易とは何かなどをシュミレーションゲームやディスカッションなどで学びます。ユニットA～Gまでありますが、最初から「問題がある! 私たちにも関係がある」と明確にしています。24時間で地球の旅をし、国際会議場、様々な国、そして、宇宙にと目を向けていきます。1988年発行ですが、内容はまだまだ、健在です。最初、文字ばかりですので、読むのが大変と思うでしょう。アニメハカランや、とてもやさしい言葉で書いてありますので、これを読めばあなたは紅茶博士、いや、フェアトレード博士になれるかもしれませんよ。

"Learning for A Fairer Future" by Lyn Waddell 1988. Australia

### 新着資料紹介 ～今回はヨーロッパ研修のおみやげの紹介です。

#### ■Me and My Body S.Webster Eureka! 1994

イギリス、ハリファックスにある子供の博物館Eureka!(ユーレカ)で購入した絵本。まずは、自分を知ることが大切と自分の身体について学びます。博物館には、自分の五感を使って遊ぶおもちゃ、いえ、教材がいっぱい。お話するロボットが入り口にあります。スタジオでお天気キャスターになったり、テレビのカメラマンに変身したり、入館記念に自分の写真を新聞に載せたり。楽しい博物館です。かわいいイラストは日本人画家T. Kitamuraです。

#### ■Our World, Our Rights Margot Brown Amnesty 1996

小学生対象。「知識」「技能」「価値観」の3つに分かれ、イギリスのナショナルカリキュラムの各教科に人権教育をどう活かすかのポイントが示されています。読みやすいレイアウト、豊富なアクティビティ、授業などですぐ使えるカード形式が特徴です。全体は「気づきから行動へ」の流れとなっています。(この本の輪読会を開きたいと思えます。関心をお持ちの方 担当 馬場までご連絡下さい。)

◇資料室の閲覧日：火曜日～土曜日(年末年始・水・日曜祝日/土曜日はワークショップが入っている時はお休み) 午後1時～6時 利用料：500円/人/日 ご利用の際は必ず電話で予約をしてください。

## ERICカレンダー 1月～3月

皆さんとの交流の場、学びの場であるERICの土曜日の企画は、ますます多彩に、また充実したものになってきています。今回はそれらERIC事務所での催しに加え、各地でご参加いただけるセミナー等をまとめました。詳しくは主催者のほうへお問い合わせください。 \*のない催しは、土曜日17:00-20:00、ERIC事務所にて、事前に担当者にご連絡ください。

12/28-1/5 冬休み	2/15 資料室イベント2月 テーマ:環境(馬場)
1/11 Global School for Beginners 10:00- (田中) *	2/22 地球市民フェスタ参加(事務所お休み)
TSW勉強会「環境容量」のアクティビティ(久保)	2/23 主催 福岡県国際交流協会「国際交流セミナー」*
1/17 主催 島根県サンレイク 「島根県20歳のつどい」*	3/1 TSW勉強会(角田)
1/18 資料室イベント1月 テーマ:開発(馬場)	3/8 GS平和勉強会(高橋)
1/25 教材検討会(田中、高橋)	3/15 資料室イベント3月 テーマ:環境(馬場)
2/1 ワールドカードお話し会(馬場)	3/22-24
2/8 GS平和勉強会(高橋)	参加のファシリテーター養成講座 *
2/8・9 主催 北九州国際交流協会「国際理解教育指導者セミナー」*	3/29 GS平和勉強会(高橋)

## 新刊案内

### ■「参加型手法で教える12のものの見方・考え方」

FAX情報番号082#

人類共通の課題について参加型で教えるのは未来に向けた教育の基本です。一人ひとりが考え、発言し、行動することを尊重し、奨励し、実際に参加することで問題解決型・協力志向の人間関係やコミュニケーションの技術を身につけることができるからです。しかし、参加型手法はそれだけではなく、基本的な「ものの見方・考え方」を身につけることにもつながるのです。教科学習に参加型手法を応用することで、活発なグループ討議と一人ひとりの考える力を伸ばす機会が広がるのではないのでしょうか。物事を把握しようとするときの基本的なものの見方・考え方で参加型手法を整理し、アクティビティの実践例を紹介したこの冊子から、そこで繰り返し使われているものの見方・考え方がどの教科にも必要とされているものであることが見えてくることでしょう。(3月刊行予定)

- I.2分法で捉える II.2次元軸で捉える III.分類する IV.全体像をつかむ V.因果関係を考える  
VI.優先順位を考える VII.分量配分で捉える VIII.時間的に捉える IX.空間的に捉える  
X.指標で捉える XI.モデル・シュミレーションで捉える XII.計画する

### ■ERICプログラム集

Now Available!! (完成が遅れて、皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします) 定価1000円

◇前号のERIC通信本欄で掲載した「ともに考え、ともに楽しくワークショップ」は刊行が遅れています。お問い合わせにはっきりとお答えできなかったことをお詫び致します。詳細は(財)地域改善啓発センター Tel 03-5276-0391 にお問い合わせください。

## 耳寄り情報

### GSグローバルセミナー'96の報告書ができました

今年は、データを扱って理解したり、メッセージを伝えるアクティビティが紹介されました。報告書は当日行われた研修のプログラム集になっています。ジェンダー、グローバルな視野のもとでの環境容量の概念、身の回りの情報のデータ化、人口と消費、成長とエネルギーなどのテーマが扱われています。(価格 3000円)分冊で「ジェンダーの視点をとらえる」「環境容量の概念に学ぶ」が予定されています。

### ヨーロッパ研修旅行報告書ができました

FAX情報番号083#

ERICでは昨年9月にヨーロッパ研修旅行を実施し、イギリスとオランダのNGOを訪問したり、子ども博物館を見学したりしましたが、その記録を報告書にまとめました。団体ごとに情報をダイレクトリー風にまとめたfact部分と執筆担当者の感想を記し、書籍・資料編として購入した書籍の一覧を加えました。

### ERICで入手可能な洋書・調査書などのご案内

FAX情報番号084#

ERICでは翻訳出版した書籍の原書や関連書籍を取り扱っております。またERICの出版ではありませんが、ERICが調査や制作に協力した報告書などもお分けすることができます。一覧表を用意しましたので、ご参照のうえお申し込みください。購入方法は通常書籍と同様です。

## お知らせ

◇ERIC冬休み 12/28-1/5お休みをいただきます。1/6(月)から事務所を開きます。

◇4月初旬に'97年度ERIC事業案内とERIC通信No.6をお届けします。

### ◇研修会員制度案内

年会費50000円

参加型のアクティビティや手法・ファシリテーターの技術をじっくりと学びたい、研修会の持ち方を学び担い手を目指したいという方に絶対お勧めの内容です!資料室を無料で利用できる他、プログラム相談にも応じます。田中まで

### ◇資料室会員募集

国際理解教育の分野ではその質を誇るERICの資料室!もっと活用していただくために皆さんのご意見を反映させながらさらに充実させてゆきたいと思っております。資料室に関わって下さる会員を募集しています。詳しくは馬場まで

### ◇ファクスネット

前号のERIC通信での呼びかけに応じてファクス番号を送ってくださったみなさん、ありがとうございます。今年は一層充実させてゆきたいと思っております。ファクスネットはERICで行われる勉強会、報告会など、主にERIC通信に掲載されなかったものを中心に、参加呼びかけ情報をファクスでお知らせするサービスです。随時受け付けています。ご希望の方はご連絡ください。(担当 高橋)

### ◇「TOKYO地球市民フェスタ」にERICが参加します。

2月21・22・23日、旧都庁、国際フォーラムで開催される「TOKYO地球市民フェスタ」で、ERICは展示販売とワークショップ(予定)を行います。みなさんのお越しをお待ちしています。なお、当日のボランティアも募集しています。お時間のある方ご連絡ください。(JR有楽町駅徒歩1分) (担当 馬場)

# ERIC

国際理解教育センター

書籍購入費・研修参加費用は下記のそれぞれの口座に振込願います。

書籍専用 郵便振替口座:00160-3-547794 口座名称:ERIC

研修参加費専用 郵便振替口座:00180-5-710744 口座名称:ERIC事務局

ERIC通信No.5 年4回発行 発行責任者 角田尚子 印刷 株式会社TRY

国際理解教育センター (ERIC) 〒114 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル1F

TEL:03-3800-9416 FAX:03-3800-9414